

遺伝性乳がん・卵巣がんについて

乳がんや卵巣がんの中には、遺伝的な要因が強く影響して発症したと考えられている遺伝性乳がん・卵巣がんがあります。遺伝性乳がん・卵巣がんは、「もう一度別の乳がんが発症する」「乳がんだけでなく、卵巣がんも発症する」などの可能性が知られています。

また、遺伝性乳がん・卵巣がんでは、その原因となっている遺伝的な要因を血縁者で共有している可能性があります。乳がんや卵巣がんの原因にあった治療・検診を受けるために、あるいはご血縁者のために、遺伝性乳がん・卵巣がんかどうかを判断することは重要です。

次のチェック項目に「いいえ」、「はい」でお答えください。

*母方、父方それぞれの家系について、またあなた自身を含めたご家族の中に該当者がおられる場合にお答えください。

この問診票だけで遺伝性乳がん・卵巣がんであるかどうかを診断することはできませんが、1つでも当てはまる場合は「詳しいがんのリスク評価」を受けることが望ましいとされています。「詳しいがんのリスク評価」は、当院の乳腺外来で受けることができます。受診をご希望の方は、主治医までお尋ねください。

(チェック項目は日本HBOCコンソーシアムを参考に作成)

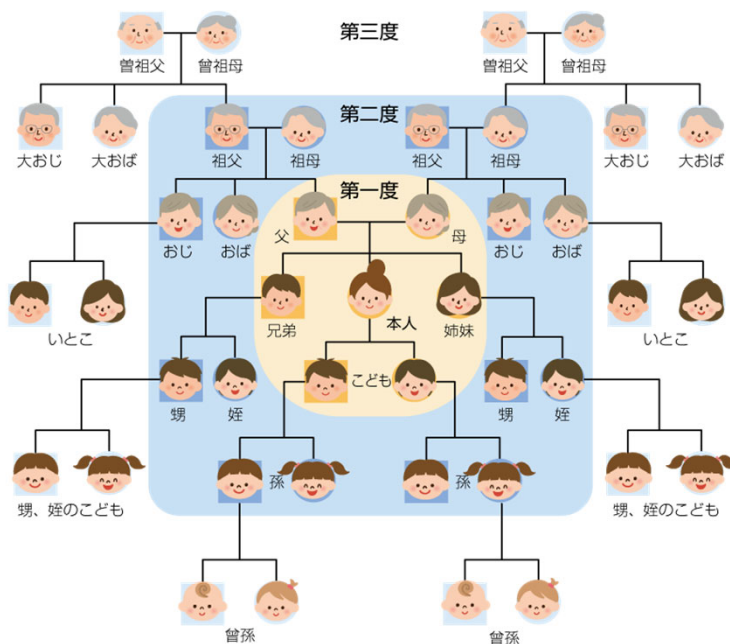
質問内容

お名前	性別：女・男	年齢 歳
-----	--------	------

生年月日： 年 月 日	がんの既往歴： 乳がんのみ ・ 卵巣がんのみ ・ 乳がんと卵巣がん
-------------	-----------------------------------

チェック項目		空欄に✓をつけてください。		
		いいえ	はい	誰が
1	40歳未満で乳がんを発症した方がいますか？			
2	年齢を問わず卵巣がん（卵管がん・腹膜がんを含む）の方がいらっしゃいますか？			
3	ご家族の中でお一人の方が時期を問わず原発乳がんを2個以上発症したことがありますか？			
4	男性の方で乳がんを発症された方がいらっしゃいますか？			
5	ご家族の中でご本人を含め乳がんを発症された方が3名以上いらっしゃいますか？			
6	トリプルネガティブの乳がんといわれた方がいらっしゃいますか？			
7	ご家族の中にBRCAの遺伝子変異が確認された方がいらっしゃいますか？			

★血縁者とは、血のつながりのあるご家族のことです。配偶者の家系は含みません。



第一度近親者 父母、兄弟、子供
 第二度近親者 祖父母、おじ、おば、甥、姪、孫
 第三度近親者 曾祖父母、大おじ、大おば、いとこなど